



健やかに安心して、いきいきと暮らす

主担当部局：健康福祉部



ならシニア元気フェスタ（グラウンドゴルフ競技）



みんなのスポーツフェスティバル

目指す姿

障害者や高齢者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で、健やかに安心して、生きがいを持って暮らすことができる体制を整備します。



●平成31年度まで毎年度、障害者のグループホームのサービス量（月間の利用者数）を

●居宅で介護サービスを受ける高齢者の割合を

10%以上の伸び

を目指します。

（平成25年度：647人）

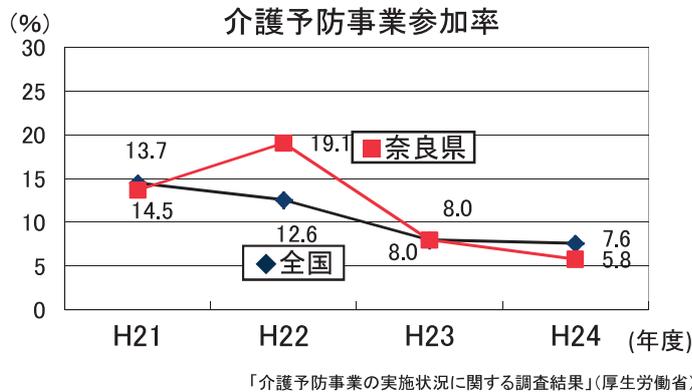
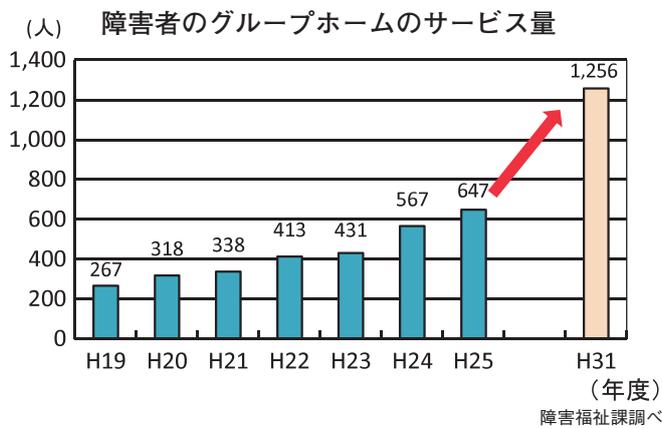
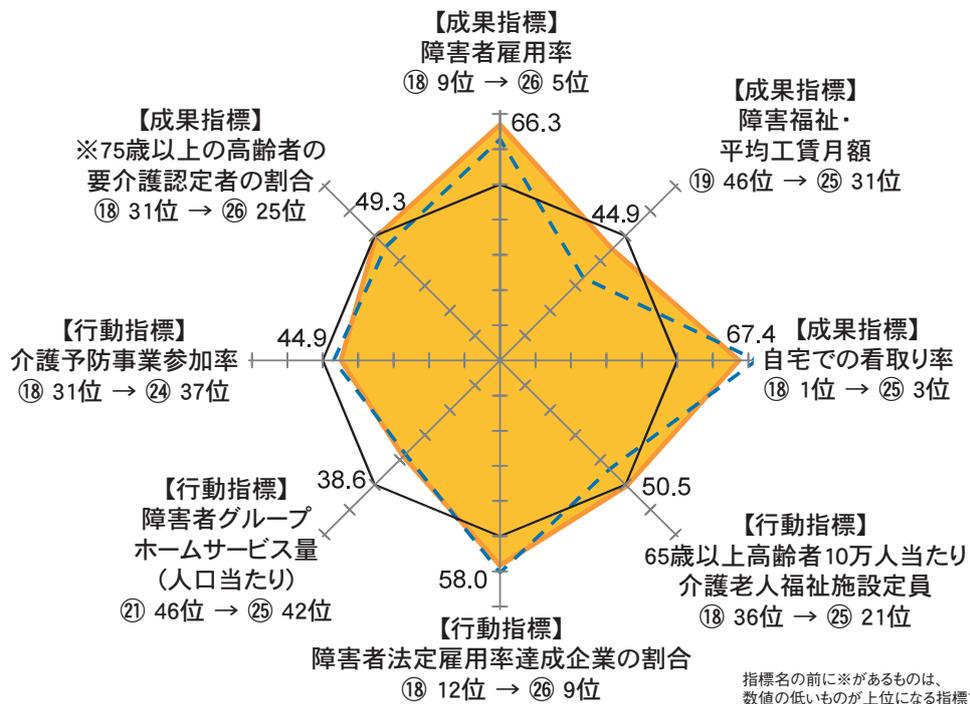
80.0%超

に維持します。

（平成25年度：80.8%）

分 析

■ 主な指標



- 障害者のグループホームの定員が743人(平成26年3月)と前年から59人増加し、障害者グループホームのサービス量も定員の85.7%と着実に伸びています。
- 介護予防事業参加者数は増加しているものの、高齢化の進展に伴い、対象者数も増加しており、参加率は全国平均より低い状況です。

戦略1 障害者支援を充実します。

主担当課：健康福祉部 障害福祉課

戦略目標

▶ **障害のある人の工賃を平成31年度までに20,000円に向上** (対象：就労継続支援B型事業所等) させることを目指します。(平成25年度：13,856円)

取り組み

障害者の雇用促進

障害者の社会参加の促進

障害者の住まいの充実

障害者と家族を支える相談体制の充実

医療ケア体制の推進



牧場で働く障害者

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
障害者の雇用促進				
◎一般企業等における雇用の場の確保	「障害者はたらく応援団なら」の取り組み推進、就労連携コーディネーターの配置			
◎職場実習機会の拡大と充実	ジョブサポーターの派遣・養成等の実施			
◎優先調達の推進と工賃の向上	優先調達の推進、農業チャレンジの実施			
◎県庁における障害者就労支援の実施	県庁内での施設外就労の実施			
障害者の社会参加の促進				
◎県民参加型啓発活動「まほろば『あいサポート運動』」の推進	あいサポーターの養成、あいサポート企業・団体の認定			
◎スポーツ・芸術文化活動を通じた交流の推進	スポーツフェスティバル・芸術祭の開催等			
障害者の住まいの充実				
◎公営住宅の障害者グループホームへの活用	公営住宅のグループホームへの改修整備の実施			
◎障害者施設・グループホームの整備	障害者施設・グループホームの整備に対する助成の実施			
障害者と家族を支える相談体制の充実				
◎地域の相談支援体制の構築に向けた支援の充実	トータルサポートの実現に向けた取り組みの実施			
◎広域的・専門的な相談機能の充実	発達障害者支援センター、高次脳機能障害支援センター等による相談支援			
医療ケア体制の推進				
◎地域における障害児療育の体制整備	障害児療育支援者連携への取り組み等の実施			
◎難聴児の補聴器購入助成	中軽度難聴児に対する補聴器購入費用の一部助成の実施			

戦略2

高齢者支援を充実します。

主担当課：健康福祉部 長寿社会課

戦略目標

- ▶ 75歳以上の高齢者のうち要介護認定者の割合を30.0%未満にします。
(平成26年度：33.0%)

取り組み

地域包括ケアシステムの構築

介護人材の確保・介護保険制度の着実な運営

高齢者の生きがいづくりの推進



ならシニア元気フェスタ（囲碁競技）



ならビューティフルシニアによる活動発表

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域包括ケアシステムの構築				
◎市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援		市町村支援の実施		市町村支援の実施、検証・見直し
◎健康長寿まちづくり検討会議の運営		検討会議の運営		
◎モデル事業の実施		モデル事業の実施		
◎認知症施策の推進	認知症施策の実施	実態調査の実施	新たな認知症施策の実施	
◎生活支援の充実			生活支援の仕組みづくり	
◎成年後見制度の推進	取り組みの実施	取り組みの実施、検証・見直し	取り組みの実施	
◎地域で暮らし続けるための仕組みづくり		取り組みの実施	検証・見直し	検証・見直しに基づき対応
介護人材の確保・介護保険制度の着実な運営				
◎奈良県高齢者福祉計画および第6期介護保険事業支援計画の推進	計画策定		計画に基づき施策を展開	
◎高齢者福祉職場における看護職員の確保			潜在看護師等を対象とした復職研修の実施	
◎介護サービス基盤の整備	第5期計画に基づく特別養護老人ホームの整備	第6期計画に基づく特別養護老人ホームの整備	医療介護総合確保基金を活用した施設の充実	
高齢者の生きがいづくりの推進				
◎高齢者スポーツ文化交流大会（愛称「ならシニア元気フェスタ」）の開催		「ならシニア元気フェスタ」の開催		
◎高齢者の生きがいのための就労を支援		起業に対する支援の実施		
◎シニア地域貢献活動実践者研修の実施		研修の実施	研修の実施、検証・見直し	研修の実施
◎ならビューティフルシニア表彰の実施			ならビューティフルシニアコンテスト、表彰式の開催	

これまでの成果

雇用障害者数は、平成18年の1,103.5人から、平成26年の1,822.5人と**719人増え**ました。

障害者施策推進トップフォーラム（平成26年9月開催、参加者約150名）により、県内各会のトップの方々**と障害者雇用に関する理解・促進**をするとともに職場実習先の確保・拡大並びに業界等への**職場開拓**を進めています。

障害のある人とない人のつながりをテーマに、「**奈良県障害者芸術祭**」（平成27年1月開催）及び「**みんなのスポーツフェスティバル**」（平成26年10月開催、参加者399名）を**開催**しました。

地域の福祉課題解決に向け、**地域福祉推進会議を開催**（平成26年7月）するとともに、モデル事業実施地域において「**協議の場づくり**」を行いました。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう「**健康長寿まちづくり検討会議**」を開催（平成25年度～）するとともに、健康福祉部に**地域包括ケア推進室を設置**（平成26年4月）し、県内市町村の**地域包括ケアシステムの構築を推進**しています。

介護保険制度を円滑に運営するため、計画に基づき**介護老人福祉施設を整備**するとともに、平成27年4月の**介護保険制度改正に向けた市町村支援**を行いました。

高齢者のスポーツ・文化活動の発表の場である「**ならシニア元気フェスタ**」の開催（平成26年5月開催、参加者2,285名）、生きているための就労の場の創出に対する支援等を行い、**高齢者の生きがいを推進**しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

障害者雇用率

1.88%

（平成18年度 全国9位）



2.22%

（平成26年度 全国5位）

県、奈良労働局をはじめ、障害者就労支援機関が密接に連携した取り組みを進めてきたことで、障害者雇用率が上昇しました。

障害福祉・平均工賃月額

8,022円

（平成19年度 全国46位）



13,856円

（平成25年度 全国31位）

障害福祉事業所における就労意識の高まりを受け、県による研修、コンサルティング機会を創出してきたことで、着実に向上しています。

■変化が見られない指標、低下している指標

自宅での看取り率

16.5%

（平成18年度 全国1位）



16.0%

（平成25年度 全国3位）

居宅でのサービスを受ける高齢者の割合が80%超を維持しており、自宅での看取り率が16.0%と僅かに低下しましたが、依然として全国順位は上位を維持しています。

※75歳以上の高齢者の要介護認定者の割合

30.9%

（平成18年度 全国31位）



33.0%

（平成26年度 全国25位）

全国と同じく増加傾向にありますが、全国順位は上昇しました。

指標名の前に※があるものは、数値の低いものが上位になる指標です。

